

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	近江八幡駅前校第2		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせたオーダーメイド療育	こども一人ひとりの「できた」「伸びた」を大切にしたい個別目標を設定しています。また、保護者との振り返りや面談を通して、家庭での様子や要望を支援に反映し、継続性のある療育を行っています。	保護者との面談や日々の連絡を通してご家庭での様子も丁寧に把握し、家庭と事業所が連携した一貫性のある支援を行えるよう努めます。加えて、職員研修や外部研修への参加を通して専門性の向上を図り、多様なニーズに柔軟に対応できる体制づくりを進めていきます。
2	こどもが安心感を持って楽しく通所していること	こどもが「きらり」で楽しく安心して過ごすことを通じて自己肯定感を高められるよう、職員全体で共通理解を持ち、日々の支援に取り組んでいます。	活動内容についても子どもの興味関心を取り入れながら、成功体験や達成感を積み重ねられるよう工夫していきます。さらに、安心して自分の気持ちを表現できる雰囲気づくりや、トラブル時の迅速かつ丁寧な対応を徹底し、心身ともに安定して通所できる環境を維持・向上させていきます。
3	日頃から保護者の方と情報共有を行い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていくこと	毎回の支援後に、指導員と保護者との間で15分程度の振り返りの時間を設け、支援内容の共有を行っています。また、必要に応じて保護者との個別面談も実施しています。	今後も、些細な変化にも気づけるよう観察力を高めるとともに、職員間での情報共有を徹底し、統一した支援につなげていきます。また、ご家庭での様子やご心配ごとを気軽にご相談いただける関係づくりを継続し、双方向のコミュニケーションをさらに充実させていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催の機会が設けられていないこと。	保護者会のニーズがある方とそうでない方がいるため、なかなか保護者会を開催できていない現状があります。	保護者への情報提供の場として、無理なくできるところから保護者会の開催ができればと考えています。
2	学校や学童保育、他事業所等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がないこと。	1時間の個別療育のため、時間内に教室外へ出て地域のこどもと交流する機会を持つことが難しい現状があります。	個別療育でこどもの社会性やコミュニケーション能力が育つように支援することで、地域で他のこどもと楽しく関わることができるようになっています。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会がないこと。	支援後の保護者との15分の振り返りや、任意の事業所内相談などで、家族支援を行っていますが、専門的な家族支援プログラムとして系統立てていません。	職員が専門的な研修などを受ける機会を作ることで、保護者を対象にした研修会などを開けるようにできればと思います。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 近江八幡駅前校第2

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数 56

回収数 46

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	4	1	0	・もう少し広いといいかなと思います。	その場、支援に応じた環境設定を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	45	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	42	2	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43	3	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42	4	0	0	・こどもの様子をよく見て、臨機応変に対応してもらっている。	研修や講師を招いた座談会等を通して指導員の知識、質の向上を目指します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	41	2	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	45	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	3	0	4		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	0	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	2	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	16	13		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	46	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	0	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	4	4	16		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	44	2	0	0	・こどもの状況や、学校や家族との関係も伝えて支援につなげてもらっている。	引き続き、FB,相談の時間を使い保護者様との意見交換を充実させていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	4	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43	3	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	5	6	18	・必須ではないが興味はあります。 ・今、検討していただいています。	どなたでも参加できるきりりカフェの開催も検討し、発信していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	2	0	7		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	0	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	4	2	16	・未就学のころインスタは見てました。	引き続き、SNSを通して活動等を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1	1	14		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	3	0	17		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	1	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	2	0	10		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43	3	0	0		これからも利用者様にとって「安心できる」場所になるように務めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	41	4	0	1	・学童や学校より楽しく安心できると思っています。ワーク系がやさきではないと言っていました。	子どもの「楽しい」を引き出せる支援の工夫をしていきます。また、子どもの様子を伺いながら苦手なことにも挑戦し、達成感を味わえるように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	1	0	1	・担当の方によって満足度はかわると思えます。	課題設定や声掛けを職員間で共有・話し合いをして、統一感を持って対応していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		近江八幡駅前校第2		公表日		2026年 2月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		パーティションを動かすなどして状況に応じてスペースを調整しています。	運動系の活動をする時に、安全面に配慮していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		複数の指導員が支援に関わるようにしています。	今後も法令を遵守した職員配置をしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>				
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		毎支援後のFBで保護者様と共有、話した内容をもとに改善を図っています。	今後も保護者の意向を踏まえて、プログラム作成に努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		基本的に複数担当になっており、担当同士で相談している。また、事業所内のカンファレンスで周知、検討をしています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議は、児童発達支援管理責任者と担当指導員が参加します。	今後もサービス担当者会議には、積極的に参加していきます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者の要望に応じて、関係機関と連携する体制を整えています。幼稚園や小学校との関係機関連携をしています。	今後も可能な限り、保護者の方の要望をうかがいながら関係機関連携をしていきます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者から依頼された小学校へ提出する申し送り書に、支援内容などの共有事項を書いています。	こちらからも積極的に情報共有をしていきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	1時間の個別療育のため、教室外へ出て地域のこどもと交流する機会がありません。	地域の他のこどもとの交流は難しいかもしれませんが、方法を探っていきたいと思えます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	支援後の保護者との15分の振り返りや、任意の事業所内相談などで、家族支援を行っています。	ペアレント・トレーニングまでは取り組めていませんが、これからは保護者の要望に応えられるよう取り組んでいきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後はきりりカフェを開催していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域活動として「オレンジジャンプ」を実施しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各マニュアルを策定し、指導員で共有しています。また、月に1回程度の避難訓練を実施しています。	教室掲示を徹底して、利用者・保護者への周知をしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者からの情報をもとに、服薬があるこども、てんかん発作などのあるこどもについて、事業所内で共有しています。	事前に発作時の対処法を保護者から聞いてるので、発作が起きた場合でも冷静に対処できるようにしていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回以上、虐待防止・身体拘束委員会を開き、事業所内研修をしています。	今後も職員研修の機会を確保していき、虐待の防止に努めます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				